

みなみ

R4 竜王南小学校便り
No. 8
2022.11.7 発行
甲斐市立竜王南小学校



学校教育目標
「楽しい学校（楽校）の創造」
— やる気 こん気 げん気 —

充実した秋となるように！

運動会の頃は青々としていた校庭の芝生は、その色を黄金色へと変え、校地内のいちようやけやきの葉も、紅葉する季節となりました。秋は実りの秋、スポーツの秋、芸術の秋・・・気候も良くなり、木々が実をつけるので、様々な分野で実り多い季節として例えられています。

竜王南小学校でも様々な行事が次々と実施されています。このような様々な行事や活動を通して、子供たちには日頃教室では学べないことを感じながら、また成長し充実した2学期にしてほしいと願っています。

陸上記録会(6年生) 小瀬陸上競技場

10月18日(火)には小瀬陸上競技場で甲斐市内の全ての6年生が集い、陸上記録会が開かれました。6年生はこの記録会に向け、体育だけでなく放課後も練習に取り組んできました。今年度は体育館工事もあり、雨天練習ができない不利な状況でした。しかし、記録会本番ではどの6年生も自己ベストをめざし懸命に競技していました。緊張しながらも精一杯競技する6年生の姿は心に響くものでした。





くりの実読書



読書週間に合わせ、毎年、竜王南小学校では子供たちが本に触れる機会を増やすための活動を行っています。今年度も、10月31日から11月11日までの9日間を『くりのみ読書』週間として設定しました。本校図書室と図書委員会が中心となって、読書ビンゴ等の企画で読書の楽しさを広めてくれています。10月27日にはビデオによる図書集会が開かれ、読書週間に取り組んでいることや、図書委員による絵本の読み聞かせなどが放送されました。また、今

回は給食メニューと本のコラボレーションも実施します。11月のメニューの中に本に出てくる食材が使われています。例えば11月1日は「おでんさむらい」という本にちなみメニューが「おでん」です。子供たちに少しでも本に親しむきっかけとなればと考えた司書の先生と栄養士の先生の取組です。

読書は私たちに知識や教養、語彙を授けてくれるだけではなく、想像力を豊かにしてくれます。専門家によると、読書は足りない情報を想像力で補って、曖昧なところを解決しながら自分のものにしていくのだそうです。だから、想像力も言語能力も鍛えられるとのこと。人は本の言葉の一つ一つから想像を巡らせ、自分の言葉に代えてお話の世界を創っていくのです。

そして、もう一つ大切なことがあります。それは本を読んだ後、心に残る感情があることです。楽しいお話を読めば面白いという気持ち、優しいお話を読めばホッとする温かい気持ち、勇気あふれるお話を読めば自分も頑張るぞという気持ち、図鑑などからは知らなかったことを知る喜び・・・成長期の子供たちには大人の感じ方以上に心に響くものがあります。読書をすることで、語彙や想像力が豊かになると同時に様々な感情も体験できるのです。これが日常生活の中の様々な感情を自分の心で受け止められる素地にもなるのです。

このように、読書は子供たちの成長には欠かせないものですが、ゲームで遊ぶのが当たり前の今読書離れが進んでいるのも事実です。本校でも学校評価の質問項目から「読書時間は少ないがゲームやパソコンに触れている時間が長いという子供が増えていること」が読み取れます。だからこそ、子供たちには、『くりのみ読書』の取組期間が終わった後も、読書に親しみ、好きになれる本と出合っていてほしいと考えています。ご家庭でも本を読み、本を楽しむ時間が取れるとよいですね。



体育館工事の今！

2学期になり、工事も順調に進んでいます。10月末現在は屋根工事が完了に近づいているそうです。次はいよいよアリーナの工事になってきます。大きなクレーン車など、日頃目にできないような車もたくさん入っての工事が続いています。

